

各 位

2021年6月7日  
株式会社インプレス

あらゆるリスクから身を守るためのバイブル  
『予測不可能な時代に先手を打つ リスク大全（できるビジネス）』6月8日発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、コロナ禍の今だからこそ知っておきたい、身の回りに潜むさまざまなリスクとその対策をわかりやすく解説した『予測不可能な時代に先手を打つリスク大全（できるビジネス）』を2021年6月8日に発売します。



■新型感染症、自然災害、不祥事、事故、炎上……あらゆるリスクから身を守る

コロナ禍に襲われた今、多くの人が我が身に起こりうる“リスク”を実感したのではないのでしょうか。新型コロナ以外にも、台風や地震によってもたらされる被害、SNSでの炎上・誹謗中傷、ハラスメント、スキャンダルなど、自分の生命や社会的地位、財産、企業経営にネガティブな影響をもたらすリスクは身の回りにあふれています。しかもそれがいつ自分に降りかかってくるか予測できないため、日ごろから意識しておくことがすべてのビジネスパーソンに求められます。リスクマネジメントは専門家だけでなく、私たち全員が備えておくべきスキルなのです。

■身の回りにあふれるリスクを全65項目解説

本書には、私たちが「自分ゴト」として備えておかなければならないリスクを65項目掲載しています。それぞれのリスクについて、生命や仕事への影響度合いや深刻度合いを数値化してあるほか、どんな対策をしておくべきかを図やイラストをまじえて解説しています。リスクというと難しそうなイメージがありますが、私たちに身近な例を用いて基本のキから丁寧に解説しているので、本書を手にしたその日からリスクに対する準備が始められます。

## <本書で取り上げるリスクの例>

災害・事故のリスク……地震、豪雨、台風、火災、停電、交通事故、鉄道事故、盗難、通信障害 etc

経営・ビジネスのリスク……不祥事、新規事業の失敗、環境法令違反、プライバシー侵害、集団離職、ハラスメント etc

政治・経済・社会のリスク……規制緩和、景気変動、株価暴落、原材料の高騰、市場ニーズの変化、炎上、テロ、感染症 etc

RISK 02  

## 水害・洪水

発生頻度:★★★★
影響度:深刻

影響度:生命:★★★★★
仕事:★★★★★
会社:★★★★★

水害とは水により引き起こされる災害の総称である。洪水、高潮、浸水、冠水、土石流、山崩れ、崖崩れなどが含まれる。地震等に伴って発生する津波は、通常水害には含まれない。洪水とは大雨などを原因として、河川の流量が異常に増加し堤防の浸食や決壊、橋の流出等が起こる災害をいう。

データで読み解く

近年、水害を引き起こす短時間豪雨が増加しています。1時間あたりの降水量が50mm以上の降雨の年間発生回数は、最近10年間（2010年～2019年）で、統計開始時（1976年～1985年）と比べて約1.4倍に増加しました。さらに「猛烈な雨」と呼ばれる1時間降水量が80mm以上の降雨も、約1.7倍に増加しています。特に日本では山間部が多く平野部が限られているため、国土の10%に過ぎない洪水氾濫域に5割の人口、3/4の資産が集中しているとされ、水害被害が出やすくなっています。たとえば東京都の江東5区と呼ばれる地域には約250万人が居住しており、「想定最大規模」の水害が発生した場合、ほぼ全域が1～2週間水没し、膨大な被災者の発生が予想されています。

**DATA 短時間豪雨の年間発生回数**

バケツをひっくり返したような雨  
(1時間降水量 50mm以上)

296回 (1976年)	25回 (1976年)
377回 (2019年)	27回 (2019年)

出典：気象庁中より筆者作成

滝のような雨  
(1時間降水量 80mm以上)

296回 (1976年)	25回 (1976年)
377回 (2019年)	27回 (2019年)

**発生状況**


近年、国内で大規模な水害が多発しており、気候変動による豪雨災害の激甚化・頻発化が懸念されています。2018年7月に発生した「西日本豪雨」では、西日本から東海地方の広い範囲で、400mm以上の降雨に見舞われ、全国のアメダス観測所110か所で、72時間降水量の観測史上1位が更新されました。2019年の台風19号では数十年に一度程度の降水量予想に基づく「大雨特別警報」が13都県で発表され、堤防計画時の想定を上回る降雨により、国管理河川では12か所、県管理河川128か所の堤防が決壊したほか、神奈川県川崎市では、排水の逆流により周辺地域に水が溢れる「内水氾濫」（「主要な原因」参照）が発生しました。

**主要な原因**

水害の原因は多くの場合、大雨や集中豪雨であり、近年は特に短時間で局所的な雨が降る集中豪雨、いわゆる「ゲリラ豪雨」が増えているといわれます。さらに世界的にみると、都市への人口集中を背景に都市部が水害に見舞われる事例が多発しています。

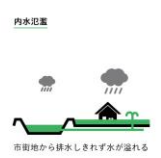
市街地での水害発生の形態は大きく2つに分かれます。堤防の決壊などにより河川から水が溢れて発生する「外水氾濫」と、降った雨が市街地から河川などに排水できずに溢れる「内水氾濫」です。一般的に畑や草地などの緑地が市街地化されると、雨水を貯留する機能が低下するため、内水氾濫が短時間で発生しやすくなります。

**外水氾濫**



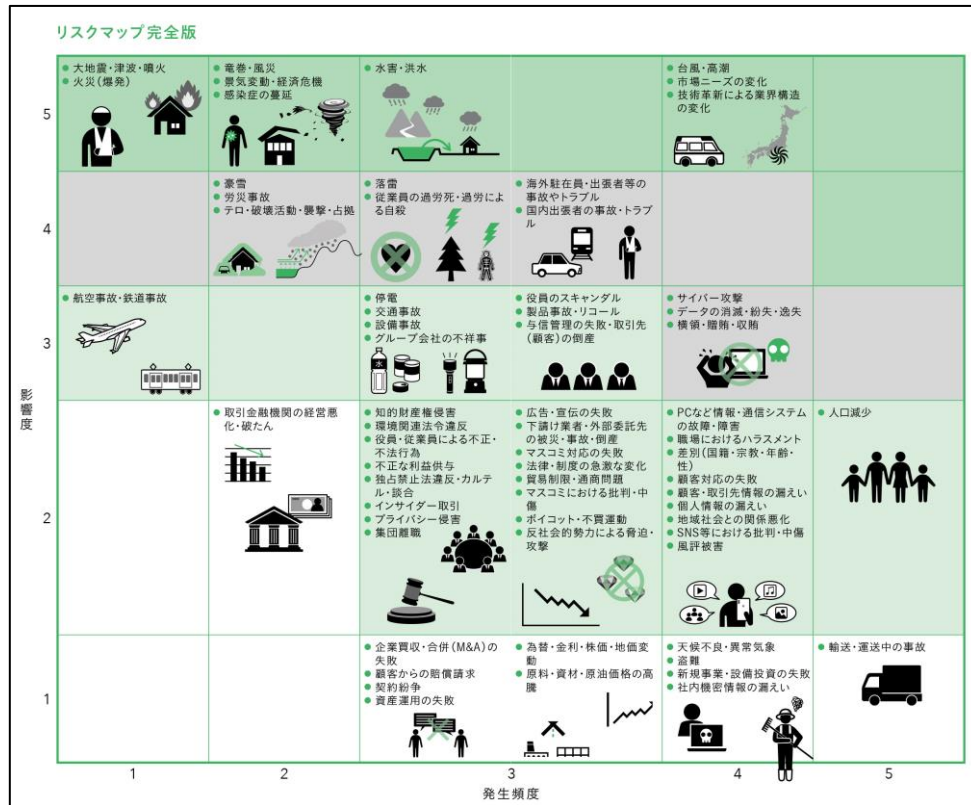
河川などから水が溢れる

**内水氾濫**



市街地から排水しきれず水が溢れる

リスクごとにデータや発生状況、原因、影響度、対策を図解しています。



すべてのリスクを影響度や発生頻度で評価。自分の関心のあるページから読み進められます。

## 目次

Prologue リスクとは何か？

Chapter1 リスクの基礎知識

Chapter2 リスクをコントロールする10か条

Chapter3 災害・事故等のリスク

Chapter4 経営・ビジネスに関するリスク

Chapter5 政治・経済・社会リスク

## 書誌情報



書名：予測不可能な時代に先手を打つ リスク大全（できるビジネス）

著：深津嘉成

編：東京海上日動リスクコンサルティング株式会社

発売日：2021年6月8日（火）

ページ数：320ページ

判型：A5判

ISBN：978-4-295-01157-6

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

電子版価格：2,200円（本体2,000円＋税10%） ※6月発売予定 ※インプレス直売価格

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1120101054>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501157.jpg>

## ■著者プロフィール



深津嘉成（ふかつ よしなり）

慶応義塾大学経済学部卒業。東京海上日動リスクコンサルティング株式会社、上級主席研究員。リスクマネジメント・危機管理等の企業向けコンサルタントとして、これまで約20年間に、600社以上にコンサルティングを提供、企業向け講演はこれまで200回以上。経営者、役員、幹部、一般社員など立場・担当部署の異なる様々なビジネスパーソンに「リスク」とその対処を解説する中で、リスクに対する様々な誤解や対処の難しさを実感してきた。また海外駐在員として中国勤務を経験し、国民性による「リスク」認識の大きな違いも体感した。2020年4月から現職。

以上

---

### 【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: [pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。